

学校施設への木材利用について

学校施設への木材利用の主な効果と意義

○学習環境の改善

- ・柔らかかで温かみのある感触や優れた調湿効果による、豊かで快適な学習環境を形成。
- ・森林の保全、地域の産業や地球環境問題などについて学習する教材としての活用。

○地場産業の活性化

- ・地域材や地場の職人の技術の活用による、地域経済の活性化や地場産業の振興。

○地球環境の保全

- ・鉄やアルミニウム等と比べて、材料製造時に要するエネルギー量が少ない。
- ・炭素を貯蔵するため温暖化抑制に寄与。

○地域の風土や文化への調和

- ・学校づくりを通じた、地域とのコミュニティ形成や木の文化の継承の機会の提供。

文部科学省における木材利用推進の取組

(1) 主な取組

ア 木造校舎の整備や内装の木質化に対する国庫補助

「新增築事業」、「改築事業」、「大規模改造事業」、「木の教育環境施設の整備」において、公立学校施設の木造化及び内装木質化の補助を行っている。

国庫負担率及び交付金の算定割合

- ・ 新增築… 1 / 2 (原則)
- ・ 改築、大規模改造、木の教育環境施設※の整備… 1 / 3 (原則)

※ 専用講堂や、既存の施設を改造した和室や心の教室等

☆①環境を考慮した学校施設 (エコスクール) として認定を受けて内装木質化を行う場合、補助単価を2.5%加算。

②地域材を活用して木造施設を整備する場合、①とは別に、補助単価を2.5% (合計5.0%) 加算。

※エコスクールパイロット・モデル事業の実施

「エコスクールパイロット・モデル事業 (文部科学省)」において林野庁との連携を図り、地域材を利用する整備について、林野庁の補助を受けられるよう措置。

イ 木材を活用した学校施設に関する講習会の開催

林野庁と共同で、行政関係者等を対象とした「木材を活用した学校施設づくり講習会」を全国3か所で実施。

- 平成26年度の開催地



新城市立黄柳川小学校（愛知県）



日田市立咸宜小学校（大分県）



守谷市立守谷小学校（茨城県）

ウ 学校施設へ木材を活用するための手引書及びパンフレットの作成・配布

- 学校施設への木材活用のための手引きとして「早わかり木の学校」を作成（平成19年度）。
- 地方公共団体向けに、木材活用事例集「こうやって作る木の学校」を林野庁と共同で作成（平成22年度）。
- 全国の木の学校の中から、近年作られた特色ある学校の一部を紹介した「全国に広がる木の学校～木材利用の事例集～」を作成（平成26年度）。



「早わかり木の学校」



「こうやって作る木の学校」



「全国に広がる木の学校」

エ 木材利用促進に関する通知の発出

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施行後3年が経過し、改めて各都道府県教育委員会等に対し、学校施設における木材利用の促進について要請・周知するため、林野庁と連名で通知を発出（平成25年度）。

（2）今後の具体的な方策

- 地方公共団体の計画に対応した公立学校施設整備費の確保
- 木材を活用した学校施設の実証的研究（木の学校づくり先導事業）の実施（平成27年度概算要求、新規）
- このほか、関係省庁と連携を図りながら、講習会等様々な機会をとらえて木材を活用した学校施設づくりを普及・啓発

(3) 木材利用整備事例

木造の事例



宮城県角田市立東根小学校



千葉県流山市立八木中学校



福島県会津坂下町立坂下東幼稚園



愛媛県内子町立小田幼稚園・小学校・
中学校
(校舎の建設を通じて地域の産業について学ぶ)

内装木質化の事例



東京都中央区立中央小学校・幼稚園



福井県福井市立中藤小学校